

心臓血管術後患者の早期補助飲料摂取による効果

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

ステントグラフト内挿術や胃大網動脈を使用した冠動脈バイパス術の心臓血管術の後、経口での栄養摂取を開始する基準や目安に関する明確なエビデンスはなく、各医療機関の判断に委ねられています。

当院では、以前は術後2日目の夕食から食事開始としていました。しかし、術後の早期回復や栄養状態の維持を目的としてこれを見直し、2023年4月より術後1日目の飲水可と判断されたタイミングから経口補助飲料の摂取を開始しています。今回、この変更による患者さんの術後合併症の影響や栄養状態を調べ、効果を検証します。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2022年4月～2024年3月にステントグラフト内挿術、又は胃大網動脈を使用した冠動脈バイパス術後にICUに入室された方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、合併症など

使用開始予定日：2024年7月4日

研究予定期間

2024年7月4日～2026年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 栄養部 宇治野智代

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 栄養部 宇治野智代

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)